

製品名: KCNH3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12939**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	120kDa

抗原情報

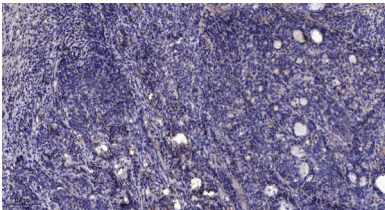
遺伝子名	KCNH3
別名	KCNH3; KIAA1282; Potassium voltage-gated channel subfamily H member 3; Brain-specific eag-like channel 1; BEC1; Ether-a-go-go-like potassium channel 2; ELK channel 2; ELK2; Voltage-gated potassium channel subunit Kv12.2
遺伝子 ID	23416.0
SwissProt ID	Q9ULD8
免疫原	KCNH3 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 470-550

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、主に前脳で発現する電位依存性カリウムチャンネルの α サブユニットである。マウスを用いた研究では、この遺伝子をノックアウトすると認知機能が向上することがわかっている。ヒトでは、コードされているタンパク質がヒト免疫不全ウイルス 1 型 (HIV-1) エンベロープの糖タンパク質 120 に結合できることが示されている。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2015 年 9 月], ドメイン: セグメント S4 はおそらく電位センサーであり、3 つおきの位置に一連の正に帯電したアミノ酸があることが特徴です。機能: 電位依存性カリウムチャンネルのポア形成 (α) サブユニット。外向き電流を誘発し、速やかに不活性化される。チャンネルの特性は、cAMP とサブユニットのアセンブリによって調節される可能性がある。類似性: カリウムチャンネルファミリーに属します。H (Eag) サブファミリー。類似性: 環状ヌクレオチド結合ドメインを 1 つ含む。類似性: PAC (PAS 関連 C 末端) ドメインを 1 つ含む。類似性: PAS (PER-ARNT-SIM) ドメインを 1 つ含む。サブユニット: カリウムチャンネルは、おそらく、調節性 β サブユニットと会合できる孔形成 α サブユニットのホモまたはヘテロ四量体複合体で構成されている。組織特異性: 脳、特に終脳にのみ検出される。大脳皮質、後頭極、前頭葉および側頭葉、被殻、扁桃核、海馬、および尾状核に検出される。

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト胃腺癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、45 分)。